

しゃかいふくし ほうじん いわて かいこうほう し  
社会福祉法人 岩手ひだまり会広報誌

# ひだまり

2017.9  
vol.10



なつ ようき さそ  
夏の陽気に誘われて!

かね が さきちようか き

金ヶ崎町花卉センターにて

え さし さくら ぎ

ひだまり江刺桜木

こんごう こども おとな よ かんじ  
\*今号より子供から大人まで、読みやすいよう漢字にかなをふらせていただいております。



会場前の記念撮影でパチリ



かわいいアシカのショー



日本の海の大水槽

岩手ひだまり会保護者会バス遠足  
仙台うみの杜水族館  
武田の笹かまぼこを見学

さらに、うみの杜スタジアムでの迫力のイルカ・アシカのパフォーマンスショーを楽しんだ後、昼食会場の「武田の笹かまぼこ」に移動し、アツアツのハンバーグ定食を食べました。ハンバーグは百四十名全員に簡易コンロで温められ百四十名分のコンロで会場は熱気に包まれました。それでも「おいしい、おいしい」と皆さん元気に食べられました。

今回の遠足は、宮城県仙台市にある「仙台うみの杜水族館」、この施設は大きな水槽がところ狭しと置かれ世界中の魚などが間近に見れる体験型水族館施設で有名です。さっそく入場口から入ってすぐのホールでは日本の海の大水槽が広がり、世界の海では世界中の生きものを間近で見ることができ親子共々大きな歓声に包まれました。

平成二十九年六月二十五日(日) 総勢百四十人が参加して岩手ひだまり会保護者会主催のバス遠足が行われました。この遠足は平成二十六年から保護者の皆さんの交流とお子さんの社会参加を目的として今年で四回目となる行事です。法人職員は引率でお手伝いをさせていただいています。



イルカのパフォーマンスショーで大喜び

その後、お土産を買ったり、アイスクリームを食べたりと思い思いに休憩を取り帰路につきました。あいにくの曇り空でありましたが、保護者会の皆さんの頑張りで充実の一日になりました。お疲れ様でした。



役職員70名が受講

全体職員研修開催

共に手を取り合える支援に向けて



講師の千田光久先生

七月二十日(木)水沢地区センターで、第三回職員全体研修が行われ、星槎大学共生科学部大学院教育学研究科教授である千田光久先生により「自閉スペクトラム症の理解と保護者心情の理解」と題して職員研修が行われました。千田先生は、市子供発達支援センター所長を今年三月まで勤めた後、現在の教職に就かれた方で本会の評議員でもあります。

始めに手歌遊びを職員に教えていただき、遊びを通して子供たちと友好的な関係を築く方法を教えていただきました。更に、発達障害、自閉スペクトラム症について話され、診断理論の変遷や最新の診断基準特徴と指導、発達・行動の特徴、そしてご家庭への支援などについて説明がありました。

ビル・ゲイツがアスペルガー症候群だったことや、発達障がいを持ちながらも現在作家として活躍なさっている東田直樹さんの事例などを交えて研修が行われました。

先生は最後に「子供に見せているあなた自身の姿が教育であること。共に手を取り合いひだまりに通ってくれる子供達のより良い成長を！」の言葉で締めくくられました。

新人職員職員研修開催

ひだまり職員としての基礎を学ぶ



七月十八日(火)から四日間、岩手ひだまり会第二回新人職員研修会を行いました。

この研修は入職三ヶ月以内の新人職員を対象に、法人理念や、職員としての行動規範・支援方法等基礎的な事を学ぶ事を目的に開催されています。

初日は高橋理事長が「基本理念。基本方針について」に続き、大沼常務より「職員としての心得」、鈴木事務局長が「倫理綱領・就業規則について」、二日目は、高橋悦子看護師より「障害児・者支援に係る医療知識」。三日目は、先輩職員と合同で上記研修を受講、最終日は、第二桜木所長栗野社会福祉士が「虐待防止」よりよい支援に向けての研修を行いました。

# 平成二十八年年度の報告と平成二十九年年度計画について

平成二十九年六月二十日に定時評議員会が開催され平成二十八年年度の事業報告と決算が無事承認されました。ここで皆様へ平成二十八年年度の事業の報告・収支決算（決算は次ページに掲載）と平成二十九年年度事業計画を報告いたします。



平成29年度定時評議員会

## 平成二十八年年度概要報告

平成二十八年年度については中高生を対象とした放課後等デイサービス「ひだまり江刺第二桜木」、北上市に二か所目となる放課後等デイサービス「ひだまり北上」こと、「障がいのある方の働く場所として、就労継続支援B型」ひだまり江刺岩谷堂、相談支援事業所ひだまり北上の開所と慌ただしい一年となりました。その他、平成二十七年年度から奥州市へ要望していた胆沢総合支所庁舎の一部借用についても決まりました。奥州市胆沢区に初めての放課後等デイサービスが二十九年年度開所予定の運びとなりました。また、かねてから懸案事項であった、ひだまり水沢駅東の移転先についても決まり、四月中旬に無事移転することとなりました。

## 平成二十九年年度の取り組み

平成二十九年年度においては、全国的に増加傾向である放課後等デイの質が問われ、それに基づき職員資格要件等も厳格化され、支援の質の向上が求められています。これを受け研修等の充実による人材育成に力を入れて参ります。また社会福祉法人制度改革が四月より完全施行となりました。これらの情勢を踏まえ私たちは、①経営組織のガバナンスの強化、②事業運営の透明性の向上、③財務規律の強化、④地域における公益的な取り組みを、重点目標として、ひだまり開設当初からの「障がいの有無に関係なく、また世代を超えて集える場所づくりの推進」という思いを胸に、「人に尽くし、人に学び、人に感謝せよ」を基本理念とした、地域社会の実現と社会福祉の増進に寄与してまいります。\*詳細は事業所で閲覧が可能です。又ホームページに掲載しております。

ここで皆様へ平成28年度の決算内容についてお知らせいたします。

### 貸借対照表

平成29年3月31日現在

(単位：円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
勘定科目	金額	勘定科目	金額
<b>流動資産</b>		<b>流動負債</b>	
	61,113,882		11,683,901
現金預金	11,257,547	事業未払金	9,779,227
事業未収金	46,958,484	預り金	1,894,674
未収金	279,959	仮受金	10,000
立替金	140,952		
前払金	2,402,960		
仮払金	100,000		
徴収不能引当金	-26,020		
<b>固定資産</b>	<b>144,354,812</b>	<b>固定負債</b>	<b>4,838,408</b>
基本財産	30,620,000	退職給付引当金	4,838,408
土地	8,414,958	負債の部合計	16,522,309
建物	2,205,042	<b>純 資 産 の 部</b>	
定期預金	20,000,000	基本金	20,000,000
その他の固定資産	113,734,812	国庫補助金等特別積立金	1,605,082
土地	9,261,200	その他の積立金	44,000,000
建物	32,292,217	人件費積立金	10,000,000
構築物	512,133	事業調整積立金	10,000,000
機械及び装置	315,694	減価償却積立金	24,000,000
車輛運搬具	13,603,203	次期繰越活動増減差額	123,341,303
器具及び備品	4,212,166	(うち当期活動増減差額)	-1,345,012
ソフトウェア	2,729,791		
退職給付引当資産	4,838,408		
人件費積立資産	10,000,000		
事業調整積立資産	10,000,000		
減価償却積立資産	24,000,000		
敷金	1,970,000		
<b>資産の部合計</b>	<b>205,468,694</b>	<b>純資産の部合計</b>	<b>188,946,385</b>
		<b>負債及び純資産の部合計</b>	<b>205,468,694</b>

### 事業活動計算書

平成28年4月1日～平成29年3月31日

(単位：円)

勘定科目		決算額	勘定科目		決算額		
サービス活動外増減の部	収益	就労支援事業収益	269,189	サービス活動外増減の部	支払利息	0	
		障害福祉サービス等事業収益	262,260,255		その他のサービス活動外費用	0	
		その他の事業収益	18,768,260		サービス活動外費用計(5)	0	
		雑収益	479,440		サービス活動増減差額(6)=(4)-(5)	101,788	
		経常経費寄附金収益	260,000		経常増減差額(7)=(3)+(6)	-1,373,104	
	サービス活動収益計(1)	282,037,144	特別増減の部	収益	施設整備等補助金収益	1,660,000	
	費用	人件費			214,005,116	固定資産売却益	10,175
		事業費			19,178,029	その他の特別収益	19,582
		事務費			42,568,059	特別収益計(8)	1,689,757
		就労支援事業費用			103,247	固定資産売却損・処分損	1,665
		減価償却費		7,651,855	国庫補助金等特別積立金積立額	1,660,000	
		国庫補助金等特別積立金取崩額		-54,918	その他の特別損失	0	
		徴収不能額		11,690	特別費用計(9)	1,661,665	
		徴収不能引当金繰入		26,020	特別増減差額(10)=(8)-(9)	28,092	
		その他の費用		22,938	当期活動増減差額(11)=(7)+(10)	-1,345,012	
サービス活動費用計(2)		283,512,036	前期繰越活動増減差額(12)	124,686,315			
サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)	-1,474,892	当期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)	123,341,303				
サービス活動外増減の部	収益	受取利息配当金収益	60,426	その他の積立金積立額(14)	0		
		その他のサービス活動外収益	41,362	次期繰越活動増減差額(15)=(13)-(14)	123,341,303		
		サービス活動外収益(4)	101,788				

平成28年度 岩手県 岩手ひだまり会 決算報告について

# ひだまり卒業生紹介

## 今の施設で

## 仕事をするのが とても楽しい

及川 鴻さん（十八歳）



岩手ひだまり会江刺岩谷堂にまる十年間通所し、今年三月に前沢明峰支援学校高等部を卒業した及川鴻さんは現在、社会福祉法人ひたかみ福祉会 ワークみずさわで元気に働いています。モノづくりが大好きな鴻さんは、学校の実習でこの施設に訪れ通所を決めました。

この通所施設では金属の加工、手芸の作製、ドーナツ・パンの製造、豆腐の製造、下請け作業などの仕事をおこなっています。五つの仕事を三ヶ月体験した後、利用者に最も合った仕事を選んでいただきます。働きながら生産活動を通して社会参加と自立する事を目標に取り組んでいます。

鴻さんは、四月からパン作りの作業を行っていましたが、七月からは自動車のエンジンに使われている、トレーマーという金属部品を研磨する作業を行っています。同じ学校を卒業した同期のお友達も二人働いていて、施設の利用者とも日々仲良く仕事しています。

鴻さんは、今の仕事はともやりがいがあって面白いと話していました。好きな食べ物は何と聞くと、「カレーライスと野菜！」と目を輝かせて答えてくれました。

## 保護者だより

### 伝え合うことが 職員と保護者の皆さんとの 大きな架橋に



及川 妙美さん  
柊馬 さん

ひだまりに関わる全ての皆さま、息子の柊馬共々いつもお世話になっております。

先日の駅東懇談会でのこと、職員のみなさんが自己紹介がてら『子供達としてみたいこと』を話してくれて……、どれも自分の得意分野を活かした楽しい内容ばかり♪、普段ゆつくり話す機会がないので、『こんな風に子供達のことを考えてくれているんだ！想ってくれてるんだ！』と、改めて職員の方へ感謝？……と同時に、伝えることの大切さを実感した時間でした。

伝え合うことが、職員のみなさんと保護者の大きな架橋になりますように……

## 保護者懇談会開催

各事業所で、保護者懇談会が開催されました。二十八年年度事業報告、二十九年年度事業計画、事業所に対するアンケートの回答や説明を行い、今後の支援に繋げていくことを確認しました。

### ひだまり江刺第二桜木

七月二十日（水）保護者懇談会を開催し五家族八名の参加をいただきました。高等部三年の親子参加が多く、ひだまりでの長いお付き合いがあり、和気あいあいと時間を過ぎました。

### ひだまり水沢横町

七月二十三日（日）に開催し、三家族の方に参加頂き保護者懇談会が行われました。保護者の皆さんからは、利用者さんとの普段の生活の様子を聞いた後、意見交換が行われました。普段はなかなか話をすることが出来ない質問や意見が交わされ、貴重な時間を共有することが出来ました。

### ひだまり水沢森下

七月二十三日（日）に保護者懇談会を開催いたしました。当日は四家族の方に参加して頂きました。保護者の方との意見交換を行う中で様々なひだまりへの意見を聞く事ができ、充実した懇談会となりました。

### ひだまり江刺桜木

七月二十三日（日）に開催し、七家族、十二名の方に参加を頂きました。水害避難訓練の話題になり、どこに避難するのか、連絡方法等様々な意見や質問を頂きました。昼食会も取り入れ、皆で和気あいあいと思い出話にも花が咲きました。

### ひだまり江刺岩谷堂

七月二十三日（日）に開催し、二家族の参加でした。時間いっぱいお子さんの事等を話すことができ、とても有意義な時間を過ごすことができました。一階・二階の事業所内も見学して頂き、就労の状況等もお話しさせて頂きました。

### ひだまり水沢駅東

七月二十三日（日）六家族の方に参加頂きました。懇談会では保護者さんから、普段の生活の様子や困り事、工夫している事など、率直な意見を交換し、貴重な時間を共有することが出来ました。

### ひだまり北上中央

七月二十九日（土）夏祭り開始前の時間を利用して開催、十家族十二名の方に参加して頂き、回を重ねる毎に出席者数が増えてきています。意見・要望から事業運営に理解が得られるよう情報提供に努めていきたいと考えます。

### ひだまり北上にこっと

七月二十三日（日）六家族、十二名の参加でした。シートベルトの着用を家庭の乗車時にも身につけさせたい、家庭で出来ていること、出来ない事の支援方法について、提供できる情報や知識を活用してほしい等の意見を頂きました。

コ  
ウ  
ム

「東京物語 (三)」



広報・研修担当理事  
向山 晃

重度知的障害者であるK君が次に警察にお世話になったのは、ATMのいたずら(?)であった。ATMで何度もためしているK君を不審に思った通行人が、警察に連絡して判明した事件(?)である。

K君は「通勤定期」でも、お金が出ると思ったらしつかかなりの時間それで挑戦していたようであった。迎えにいった職員「しよぶがなうですね」と常識を教えてやってく下さい」位の警察官の注意で許されたそうです。

神奈川の大層殺人事件が一年過ぎた。そこでは施設の建てかえが主流になっているのを知った。それも関係者、特に本人と保護者の希望が「施設建設」が安心と言つ意見が多つとついつつあった。

「ごんちゃんかん」な行動をする一部の彼らを個性と捉えず、「困つた人」「迷惑な人」と片付けていく社会は、次々と排除していく人を作り上げて行くだろう。

「こんな人がいる」社会こそ、ことばを変えればこんな人たちを言めて出来上がる「社会」「地域」こそ本物のだろう。「おかしな人」は自分でもある…と思う人ばかりならいいのかな？

ちなみに筆者は発達障害者の兆候充分ありという医師から伝達された。別に恥ずかしいとは思わない。それは個性ととらえているから…。

編  
集  
後  
記

夏の書さも和らぎ、虫たちの声が秋の訪れを感じさせます。

今回の第十号では、平成二十八年年度の決算報告や保護者会のバス遠足等について掲載いたしました。

季節の変わり目ですので、利用者の体調面に十分に配慮しながら支援してまいります。

きたいと思つます。(菅原)

寄付について

以下の方よりご寄贈頂きました。



- 平成二十九年三月十九日 小野篤様より DXマールブルレース
  - 平成二十九年三月三十一日 平谷まり会後援会様より 寄付金 二十六万円
  - 平成二十九年四月一日 伊藤和宜様より 卓球台、卓球用支柱
  - 平成二十九年五月一日 (有)三共商事様より デスクマット、掲示板
  - 平成二十九年五月十日 佐藤敬一様より チャイルドシート二台
  - 平成二十九年五月十二日 小野篤様より 絵本二十三冊
  - 平成二十九年六月二日 (有)三共商事様より ボールペン五十本
  - 平成二十九年六月三十日 岩間透安様より チャイルドブック
  - 「かんがえる」十二冊
  - 平成二十九年七月十四日 千田光利様より 寄付金
- ご寄贈頂きました方々、ありがとうございます。

